

倶留尊山（くろそやま）山行

9 月 10 日 (水)

登山グループ 上野啓子

午後の天気を気にしながら、帷子地区センターを 6 時に 20 名で出発。

国立曽爾青少年自然の家で休憩し、9 時 30 分に登山開始。曽爾高原の銀色に輝くススキを眺めながら歩く予定であったが、時期が早く見頃には至らず。しかし、景観は十分に楽しめた。

樹林帯に入ると涼しい風と、ミヤマママコナの花が秋を感じさせた。

日本ボソ (996m) に到着後、各自で 500 円の入山料を支払う。倶留尊山一帯は私有地であるためだ。

最後の急坂を登り、11 時 50 分に日本三百名山の倶留尊山 (1037.3m) 山頂に到着。雲が広がり始めたため、昼食を短めにして下山開始。周回コースの下山路では、登りとは趣の異なる植林帯の急坂を慎重に下る。14 時 30 分、西浦峠登山口に到着。

心配していた雨にも降られず、予定より早く 17 時 30 分に帷子地区センターへ帰着。充実の山行であった。

9 月 環境保全・一斉パト

9 月 18 日 (木)

環境保全・一斉パト G 高島・中村

夏季活動休暇明けの 9 月 18 日、一斉パト & 環境保全活動を実施。猛暑日に近い暑さにもかかわらず、18 名の会員が参加。



階段補修作業を行う会員



曽爾高原を望みつつ倶留尊山を目指す一行

まず真禅寺ルートの一斉パトでは、登山道の状況確認や、10 月実施予定の「土田小交流会」で使用するどんぐりの状況などを点検しながら登った。

続いて、西山ルート 100~160 区間で登山道の階段補修を 5 か所実施。材料は、伐採・倒木後に登山道脇へ置かれていた枯木を再利用した。

気温が高い中での作業であったが、全員が汗を流しながらも協力して取り組んだ。参加者の労に感謝する。

天城山・箱根駒ヶ岳一泊山行

10 月 8 日 (水) ~ 9 日 (木)

登山グループ 芦田典子

参加者 25 名。台風の影響が心配される中、初日は 10 時 40 分に、天城高原ゴルフコース敷地内の天城縦走路登山口より登山を開始した。コースは万二郎岳 (1299m) から万三郎岳 (1405.5m) を巡る周回ルートである。登山口ではヒメシャラの木が出迎えてくれた。眺望は限られていたが、時折雲間から姿を見せる富士山に感嘆の声が上がった。



万二郎岳にて楽しい昼食タイム

登山道は荒れており、思うように歩が進まなかったが、トリカブトやリンドウの花、木に生えたツキヨタケが元気を与えてくれた。夕暮れが迫る中、ヘッドライトを灯して天城高原ゴルフコースへ無事下山。

二日目は箱根駒ヶ岳 (1356m)。10 時 40 分に防ヶ沢登山口から登山を開始した。原生林に覆われた静かな登山道を進むと、ハコネトリカブトの花が目をつけた。山頂付近は草原で、強風と霧に包まれる中、一瞬だけ芦ノ湖が姿を現した。山頂にある箱根元宮のお社で風をよけながら昼食をとり、早めに下山。防ヶ沢登山口から無事に下り、帰路に就いた。帷子地区センター到着は 19 時 30 分頃であった。

10 月 環境保全・一斉パト

10 月 16 日 (木)

環境保全・一斉パト G 高島・中村

10 月 16 日、一斉パト & 環境保全活動を実施。雨を心配しながらの実施であったが、18 名の会員が参加し、無事に完了。

西山登山口からスタートし、北回り入り口まで登山道の状況やゴミの有無、補修が必要な箇所を確認しながら進んだ。

その後、北回り入り口付近にて階段部分の腐蝕・損傷箇所を新しい木材に交換する補修作業を実施した。



土田小学校体育館にて、10円玉磨きの説明をする吉田顧問

土田小学校交流会

10月24日(金) 10時30分～12時

地域支援グループ 柿元章吾

恒例となった土田小学校 3 年生の総合学習「との会との交流会」を開催。78 名の児童が参加し、との会からは 14 名が支援にあたった。

内容は、①タラヨウの葉に文字を書く葉書づくり、②ギンギシの葉で 10 円玉を磨く体験、③どんぐりゴマ回しの三種。開始前には、地域支援リーダー岩瀬氏がとの会の紹介と各ワークの説明を行った。



どんぐりゴマ回しを楽しむ児童たち

児童は各ワークを順番に体験し、思い思いの取り組み方で楽しんでいた。との会のメンバーも子どもたちとともに活動を楽しんだ。

振り返りの時間には、多くの児童が積極的に感想を発表。この体験が子どもたちの記憶に長く残ることを願う。

どんぐりの採取・湯煎・冷凍保存、タラヨウの葉の採取・洗浄・乾燥、ギンギシの葉の当日採取など、事前準備の上に成り立った活動である。支援に携わったすべての方々に感謝したい。



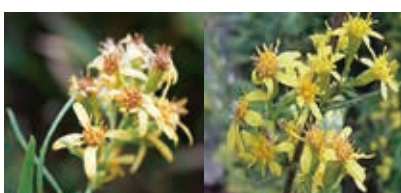
タラヨウの葉で手紙を書く児童たち

11 月植物観察会

11月1日(土) 9時～12時

自然保護グループ 山口和江

夜中に降っていた雨が上がり、曇り空の下、絶好の観察会日和となる。13 名でまず、木曽川コースに向けて出発。草が刈られたばかりか、歩きやすくして植物の観察もしやすい。コースの入り口ではオオハナワラビを、大脇湊ではナメラダイモンジソウ・キイトラッキョウ・ノコンギクを観察。また、ツリガネニンジンや、アキノキリンソウ似のアオヤギバナも観察。

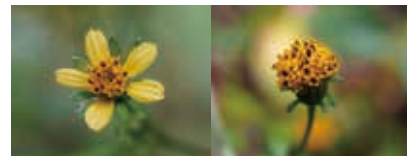


アオヤギバナ(左)とアキノキリンソウ(右)

ヤナギタデの葉を味見しようと口には含むと、じんわりと辛みが増してきて、衝撃を受ける。また、山ブドウの実を皆で一粒ずつ食し、秋の実りを満喫。キチジョウソウは開花を始めていたが、トウゴクサバノオはイノシシに荒らされたらしく、消えていて残念。

次に、ヤクシソウを観察するために、真禅寺に向かう道路沿いを歩く。帰路

で往路の反対側を歩くと、舌状花のあるセンダングサと舌状花のないコセンダングサが、隣同士で観察できた。ガガイモの花も目線の高さで詳細に観察できた。今後、実になるまでの過程も追ってみたいと思う。いつの間にか青空がのぞき、充実した気分で観察会を終えることができた。



センダングサ(左)とコセンダングサ(右)

可児市山の日

11月5日(水) 10時～12時

事務局 柿元章吾

今年から可児市観光協会が制定した「可児市山の日」、当会も協賛として参画した。鳩吹山の八十(8月10日)と西山の二四(2月4日)を合わせ10月14日を記念日とした。当日は雨天のため延期、この日に開催となった。

参加者は約 150 名、との会からは 15 名が支援に参加。

冒頭の挨拶で当会について、鳩吹山の環境保全や児童登山支援に 20 年以上取り組む団体として紹介された。

その後はサックス演奏が行われ、演奏に合わせて歌を楽しんだ。



11月6日の中日新聞朝刊より

これからの活動予定一覧

【保全パトロール G 高島勝・中村睦子】

- 保全活動 真禅寺 P / 9 時集合
- ・12月18日(木)財産区合同・1月22日(木)

【登山 G 千賀徳子】

- 鳩吹山清掃登山
- ・12月10日(水)
- カタクリ P 又は 真禅寺 P / 9 時集合
- 金華山登山
- ・1月14日(水) * 詳細は別紙参照

【自然保護 G 水野可律子】

- 植物観察会 カタクリ P / 9 時集合
- ・12月6日(土)・1月10日(土)

【地域支援 G 岩瀬雄一】

- FCV スポーツクラブ鳩吹山登山支援
- ・12月13日(土) 大脇公民館 / 9 時半集合

【事務局】

- もみじ祭り カタクリ P / 10 時～15 時
- ・11月29日(土)・30日(日)
- 連絡会 土田地区センター / 9 時半集合
- ・12月4日(木)
- 連絡会兼新年会 かまどや / 11 時半集合
- ・1月8日(木)
- 会報発送 福祉センター / 9 時半集合
- ・1月27日(火)
- 入会者 山本 勤(つとむ)

【鳩吹山との会 連絡先】

Phone : (西川)

e-mail :